

ことについて、所見を伺う。

市長 特定の病院に限定した支援は公平性の観点から難しいが、ハード・ソフト両面における全市的な病院支援の枠組みや手法について検討を進める。

議員 市内の地域医療体制

の確保のため、医療事業者等と連携して国や都に働きかける協力体制を構築すべきだ。所見を伺う。

市長 医療機関等から様々な要望が来ており、どこまで連携できるかを協議しているところだ。



れいわ・市民自治の会
野村 羊子 議員



公文書は30年ルール適用で原則公開を

答 公文書管理法の趣旨等を踏まえ、管理方法等を検討する

議員 公文書管理保存に当たり、市民の市政参画に資する制度設計が必要だ。国際的に標準とされている30年ルールを踏まえた検討について、所見を伺う。

市長 高度経済成長期に市内で議論があり、社会教育ではなくコミュニティ行政の中で考えていく方向となった。

総務部長 国の動向や庁内ペーパーレス化の進展の状況などを踏まえ、公文書の管理保存や容易に検索できる手法等を検討する。

議員 市民が共に学び合い考え合う中で、行政と地域で活動する市民をつくることとが社会教育の本来の趣旨だと考える。市はどのような協議中だ。



公明党
佐々木かずよ 議員



廃食用油回収体制構築でSAF推進を

答 効果的な回収拠点の検討、イベント等での回収、普及啓発に努める

議員 廃食用油は持続可能な航空燃料（SAF）の原料となる。SAFの普及を推進するため、商工会や市内事業者と連携し、廃食用油の回収に積極的に取り組むべきだ。所見を伺う。

市長 企業等と連携しつつ、市民の意識向上への一助となるよう、具体的な施策を検討していく。

議員 介護職員等へのカスハラが増加している。福祉の質を守るためにも安心して働ける環境が重要だ。実態把握と課題への対応につ

いて伺う。

市長 カスハラ対応は研修等で様々な実態を把握している。介護職員が安心して働けるよう、専門機関との連携を含め、体制整備の構築を支援する。

議員 市が関与していない



立憲民主緑風会
おばた和仁 議員



既存の小・中一貫教育の課題改善を

答 各学園の中で教職員の共通理解を図りながら前に進めているところだ

議員 教育委員会はマネジメントの違う義務教育学校ではなく、現行の施設分離型小・中一貫校の課題改善にもっと向き合うべきだ。教育長の見解を伺う。

教育長 実践の共有化に力を入れており、各学園の様々な先進的な取り組みについてノウハウを共有しながら進めているところだ。

議員 高齢者への熱中症予防グッズ配付の取り組みを評価する。今後も単身世帯の高齢者が増える中、どのように支援していくかは重要な課題だ。

健康福祉部長 高齢者が地域で孤立しないように様々なつながりをつくりつつ、多様な情報が届くよう取り組みを進めていきたい。



8月に開催された戦後80年「語り継ぐ」平和展の「地中に埋もれていた戦争展」



自民クラブ
加藤こうじ 議員



町会等の活性化で地域のつながりを

答 多様な団体との連携・協働が活性化を生み、防災にもつながると考える

議員 地域コミュニティの発展には、地域の基礎的役割を担う町会・自治会の活性化が必要と考える。所見

を伺う。

市長 町会等の活性化には、防災のまちづくりの中核を担うなど新しい形もある。様々な機会や組織を通じて地域づくりに取り組む視点も重要だ。

議員 市内の町会等では、役員の高齢化や担い手不足が課題となっているが、市はどのように支援をしているのか。



無所属
半田 伸明 議員



ひきこもり発生を防止する体制を

答 相談の入口となる窓口や体制・組織づくりも視野に入れ、検討していく

議員 不登校の生徒が中学校卒業後に、高校を中退して新たにひきこもりとなることを防ぐため、支援体制を考える必要がある。三鷹市にはひきこもり専門の部署がないのが現状だ。保護者の苦悩を市が理解し、寄り添うとともに、子ども・若者をどう支えるかという観点から大事である。20歳になるまでの数年間に新たなひきこもりとなることを防止し、保護者の苦悩を和らげるための支援を時系列で継続的に対応する市の総合

市長 高校での不登校、中退をきっかけにひきこもりとなることを防ぐ取り組みが必要であるとともに、大人になる前の段階からの相談は、早期の支援につながる可能性もある。若者の相談について、市の1つの部署で解決するということが困難であるが、相談の入口となる窓口、体制及び組織について、しっかりと検討していく。



都民ファーストの会
原 めぐみ 議員



学校建替でプール集約に引き合うべき

答 児童の安全面や移動時間の確保、コストなどで総合的に検討する

議員 適応支援教室A・Rの提供を始めたが、食育のoomに通う中学生へ給食の提供を始めたが、食育の観点から考えると小学生に

対しても提供すべきだ。

教育長 中学生の献立をそのまますべてに提供するのではなく、カリキュラム等の課題があるが、小学生への提供も調整を進める。

議員 中原小学校建て替えに伴い、地域との共同利用を見据えた屋内型プールの検討と新川中原コミセンのプールの方向性を早急に決めるべきだ。



立憲民主緑風会
谷口 敏也 議員



不登校対応巡回教員等の拡充を求める

答 校内別室支援員を含め不登校対応巡回教員の拡充を国等へ要望する

議員 小学校の校内別室支援員及び中学校の不登校対応巡回教員の配置状況と拡充への考え方を伺う。

教育長 校内別室支援員は8校に各1名、不登校対応巡回教員は5校で2名配置しており、学級担任と児童・生徒との橋渡し役となることで信頼関係の構築に寄与している。支援員等の拡充については、引き続き国や東京都に対し要望していきたい。

議員 子どもが学校に行きたくないと言ったときの保護者の悩みを解消するため、相談先などをまとめたリーフレットを作成・配布すべきだ。

教育長 今年度中に保護者が読みやすいリーフレットの作成を目指している。

議員 認知症にやさしいまち三鷹ガイドブックにあるお金の管理について認知症が進行した際の現実的な流れを詳細に記載すべきだ。健康福祉部調整担当部長



自民クラブ
吉野けんさく 議員



公共施設の安全安心な維持保全を

答 包括施設管理業務の導入で適切な施設管理につなげるべく準備中だ

議員 本年6月の教育センター停電の原因箇所について、市は事前にリスクを把握していなかったのか。